

「令和5年度全国学力・学習状況調査」新城市の状況について

新城市教育委員会

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的としています。令和5年度の結果からわかる児童生徒の状況を報告します。

1 調査概要

- (1) 調査実施日 令和5年4月18日（火）
- (2) 調査対象 市内小学6年生、中学3年生
- (3) 調査事項 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）
質問紙調査（学習・生活）

2 各教科の調査の結果（全国の平均正答率との比較）

(1) 小学校

	調査の内容・領域
国語	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none">・原因と結果など情報と情報との関係について理解する力。・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力。・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none">・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力。・日常よく使われる敬語を理解する力。・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉える力。・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力。・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける力。
算数	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none">・示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうか判断する力。・伴って変わる二つの数量について、表から変化の情報を読み取り、表の中の知りたい数を求める力。・二次元の表から、条件に合う数を読み取る力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none">・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する力。・台形の意味や性質について理解する力。・正三角形の意味や性質について理解する力。・（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える力。

(2) 中学校

問題調査の内容・領域	
国語	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none">・話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問する力。・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力。・読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none">・意見と根拠など情報と情報との関係について理解する力。・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりする力。・事象や行為、心情を表す語句について理解する力。・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握する力。
数学	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none">・累積度数の意味を理解する力。・数と整式の乗法の計算をする力。・結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明する力。・問題場面における考察の対象を明確に捉える力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none">・自然数の意味を理解する力。・反比例の意味を理解する力。・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力。・事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈する力。
調査の内容・領域	
英語	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none">・社会的な話題について、短い文章の要点を捉える力。・情報を正確に聞き取る力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none">・疑問視を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書く力。・日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る力。・社会的な話題について、短い説明の要点を捉える力。・情報を正確に読み取る力。・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る力。・文と文との関係を正確に読み取る力。

3 生活状況に関する質問紙調査の結果

児童生徒への質問	児童生徒の回答の状況
今住んでいる地域の行事に参加していますか	児童生徒ともに「参加する」と回答した割合が全国と比べ上回る。
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか	「だいたい週に4回以上行く」「週に1～3回程度行く」と回答した小学生は全国と比べ上回り、中学生は下回る。
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒は、全国と比べやや上回る。

4 学習状況に関する質問紙調査の結果

児童生徒への質問	児童生徒の回答の状況
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	「役に立つと思う」と回答した児童生徒は、全国と比べ上回る。
算数・数学の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的な回答をした小学生は、全国と比べてやや上回り、中学生はやや下回る。
英語の勉強は大切だと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学生は、全国と比べやや上回り、中学生は下回る。

5 調査結果の分析と、今後の指導改善等の取り組み

本年度の学力学習状況調査の結果からも、地域の行事に積極的に参加している児童生徒の姿を再確認することができた。

昨年度の調査に引き続き、多くの小学生は毎日あるいはほぼ毎日、朝食を食べて登校していることや、決まった時間に起床・就寝していることが確認できた。しかし、中学生になると不規則になってしまう生徒が多くなっている。また、家で自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒が全国と比べて下回っていることから、家庭での時間の使い方をマネジメントする力を身につけられるように、家庭とも連携を図っていく。

学習状況の調査より、GIGA スクール端末が、児童生徒にとって学習活動を充実させ、理解を深めるツールとして、定着してきていることがわかる。今後は、家庭学習においてもGIGA スクール端末を活用したり、授業において話し合い活動やプレゼンテーションに活用したりするなど、これまで以上に幅広く活用するための方策を研究し、実践していく。

中学校において、「学習したことが将来、社会に出たときに役に立つと思うか」という質

問に関して、前向きな回答している生徒が全国と比較して大幅に下回っていた。知識を獲得するだけの授業ではなく、主体的に学びに向かう意欲を高めたり、道徳教育、系統的なキャリア学習等を充実させたりすることにより、獲得した知識をもとに、生徒同士の対話を通して、学びを深められるように、授業改善を図っていく。

小学校、中学校ともに「困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人に相談できるか」という質問に関して、前向きな回答している児童生徒の割合が全国と比較して下回っていることが気付きである。児童生徒にとって、学校がわくわくする場所であり、心の拠り所となる場所となるように、児童生徒に寄り添った支援、わくわくする授業を目指した授業改善に努めていく。